

第 187 回 競技委員会 議事録

1. 日 時：2007 年 10 月 17 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分
2. 会 場：連盟本部事務局
3. 出席委員：平田委員長、清水、古田、斉藤、西田、田中、仲村
以下委任状：林、佐々部、山菅、寺本
オブザーバー：大政
委員総数 11、定足数 8、出席 11（内委任状 4）で成立
4. 議事の経過及び結果：平田委員長を議長に議事を逐一審議した。
5.
 - 第 1 号議案 平日夜 2 日に分かれて開催されるセクショナルについて
以下の条件で開催を認めることで合意した。
 - 期間を 2008/1/1 から 2008/12/31 とする。
 - 回数を 1 年間 4 回までとする。
 - 開催の間隔として最低 1 ヶ月をあけること。
 - 開催時間は夜にかぎる。
 - 開催は 2 セッションのみとする
 - 競技規定は通常の競技規定で行う。(IMP の競技規定は使わない)
 - 開催にあたっては関東センター間の了解を取ること。期間終了にあたって、期間および条件等の再検討を行う。再検討にあたっては、その実績を Weekly ゲームの状況を含めて報告を求めることで合意した。
 - 第 2 号議案 コンベンション小委員会報告
事前提出コンベンションカードの Web 掲載を、朝日新聞社杯および日本リーグにて実施する。
WBF システムポリシーおよび ACBL サンプルディフェンスの Web ページに年内中にリンクを張る。
5 号会報用原稿を清水委員が作成し、確認作業は e-MAIL にて行う。締切は 11 月末。
 - 第 3 号議案 センター会議の報告
クラブリーグ 1 部をリスト D とし IMP オープンリーグは現状通りリスト E とする結論が出たことが報告され了承された。
 - 第 4 号議案 ビディングボックス収納のタイミングについて
規則の文面は「ビディングカードはオープンニングリードが表向きにされた後に戻す。」にて合意した。来年度以降のハンドブックに掲載することとする。また会報 4 号に載せた PR 文を 5 号にも掲載することで了解された。
 - 第 5 号議案 日本リーグ 1 部の中止に関する検討
悪天候や公共交通機関の遅れは原則不戦敗や遅刻に影響を与えない。また PABF や WBF のチャンピオンシップゲームに対する参加は JCBL にとって公的な意味をもつことの 2 点をあらためて確認した。
また試合要項に定められていない事態に対しては、競技委員会および主任ディレクターが協議して対応することとなっている。
過去台風により高松宮杯を順延したりトライアルをラウンドカットした例が報告された。延期、中止等に対する基準を設けられないかという意見が出たが、数値化した基準を設けることでは個々に状況には対応しがたく、協議によってその都度判断する現状の方法が良いということで合意した。また競技会開催のスケジュールにおいて余裕を持った日程を組むことをあらためて確認した。
 - 第 6 号議案 大高栄二氏よりの意見
本議事録をもって回答とすることとした。
 - 第 7 号議案 その他議案
次回委員会にて来年度事業計画の素案を提出することとした。

次回競技委員会は 12 月 5 日（水）18 時 00 分から開催する。
次々回競技委員会は 1 月 16 日（水）18 時 00 分から開催する。

以 上